

地域を舞台とした教育活動 ～5年生 田植え体験～

「おいしく育って」



田植えを体験する西豊田小の児童たち＝八千代町粟野

八千代・西豊田小 児童が田植え体験

八千代町太田の西豊田小（安藤一彦校長）の5年生31人が6日、学校近くの田んぼで田植え体験を行った。児童たちは泥に足を取られたり、中腰での姿勢に苦戦したりと、慣れない作業に懸命に取り組んだ。

田植え指導は、農業経験が豊富で同小の学校評議員を務める諏訪洋一さん（79）や保護者らが協力し、総合的な学習の時間を利用して実施した。秋には稲刈りを

予定している。

児童たちは半袖、半ズボン姿で田んぼへ。「冷たい」と声を上げる児童もいたが、すぐに順応。指先で数本分つまんだ苗を手首が泥に漬かるまで突っ込み、丁寧に植えていった。諏訪さんは「昔ながらの田植えを体験して大変さを知れば、米を無駄にしないことも覚える」と語った。

初めて田植えを体験した小竹舜君は「最初はバランスを取れたが、疲れて動きが取りにくくなった」と感想。中山春香さんは「足がはまって動けなくなるのがあったが、楽しくできました。おいしく育ってほしい」と話した。

（小林久隆）

令和4年5月8日（日） 茨城新聞に掲載されました

